

取扱説明書（防雨、防湿形 間接照明器具）

保管用

MC65001, 65002, 65003

このたびは、マックスレイ照明器具をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

施工者様へのお願い

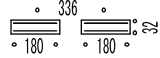
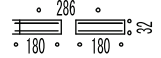
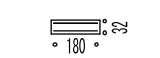
器具の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

工事終了後、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

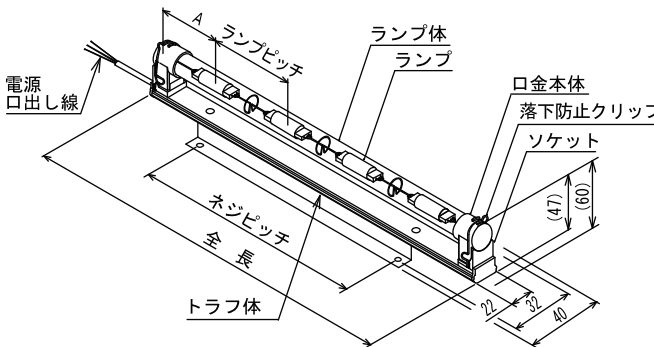
◆仕様

- * この器具は、100V電源で使用できます。（トランス不要）
- * 調光は白熱灯用の調光器をご使用ください。
- * 標準仕様の口出し線は、キャプタイヤケーブルです。（屋外用）

型番	MC65001	MC65002	MC65003
全長(mm)	630	580	330
A寸法(mm)	50	45	45
ランプピッチ(mm)	76	70	80
定格	100V40W	100V40W	100V20W
全光束(Lm)	320	320	160
定格寿命(Hr)	20000	20000	20000
重量(Kg)	0.45	0.43	0.26

■付属品			
本体取付ネジ数(本)	8	8	4
取付ピッチ(mm)			

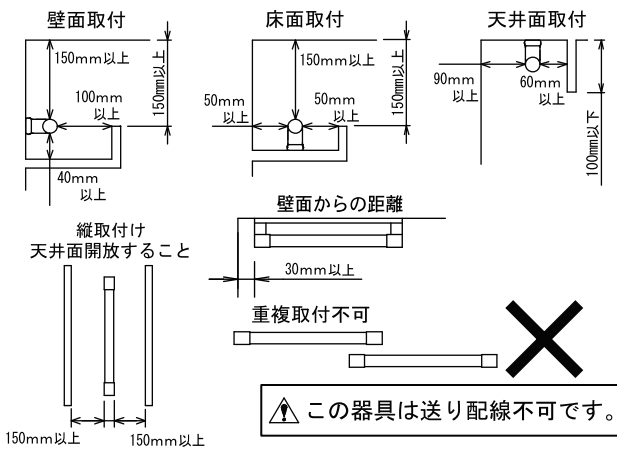
◆各部の名称



◆施工上の注意

- 発熱による危険防止のため、取付の際は、下記の寸法をお守りください。
- 器具の改造及び構成部品（ソケットなど）の交換はしないで下さい。火災・感電・落下の原因となります。
- * 造営材に取付けるときは、あとでランプ交換ができるように施工してください。

⚠ ランプ周辺には、燃えやすい紙や布等の可燃物を近づけないでください。火災の原因になります。



- ⚠ 取付面が凹凸であったり、歪みや波打ちしている所は平らな板などを介して取付けてください。（このような所に固定すると、両端のソケット部が同軸上にならないので、ランプ取付が出来ない場合があります。）
- ⚠ 電源口出し線に張力がかからないように注意して下さい。（内部接続部を痛めたり、絶縁破断の原因になります。また、屋外使用時は防水性能を損なう原因になります。）
- ⚠ 必ず落下防止クリップが口金本体にはめ込んであることを確認してください。

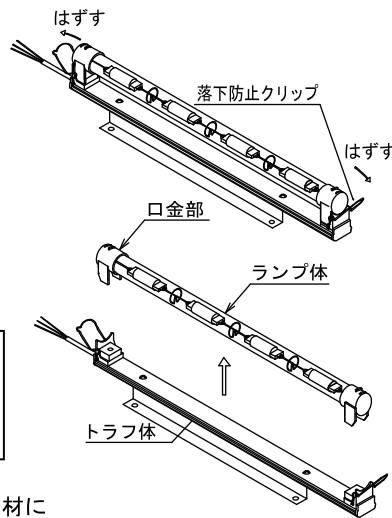
◆取付方法

⚠ 器具の取付けは、電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

● 造営材に油分、水滴、ほこり等がない状態にしてください。

●取付手順

1. 落下防止クリップをランプ体より外してください。

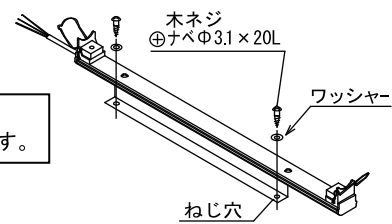


2. ランプ体をトラフ体より外してください。

※両側の口金部をもって器具と平行にして両端同時に引き抜いてください。

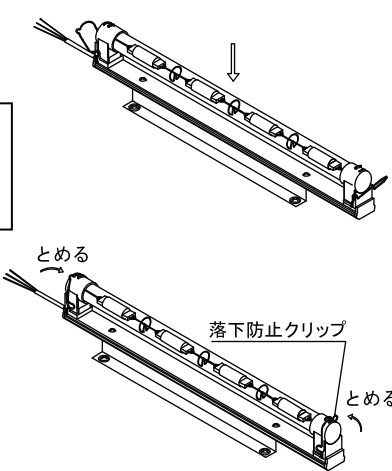
3. ジョイントカバーを造営材に造営材に付属の木ねじとワッシャーで確実に固定してください。

※強くねじ締め付けると器具が変形、破損します。



4. ランプ体をトラフ体に組み込んでください。

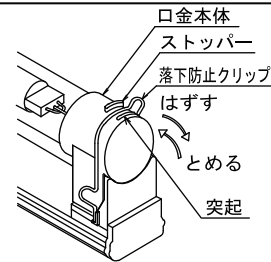
※両側の口金部をもって器具と平行にして両端同時に組み込んでください。



5. 左右の落下防止クリップをランプ体にはめ込んでください。

クリップの取り外し方法

⚠ 落下防止クリップは必ず口金本体の突起を超え、ストッパーの手前で止めてください。クリップの止まっている位置を必ず確認してください。



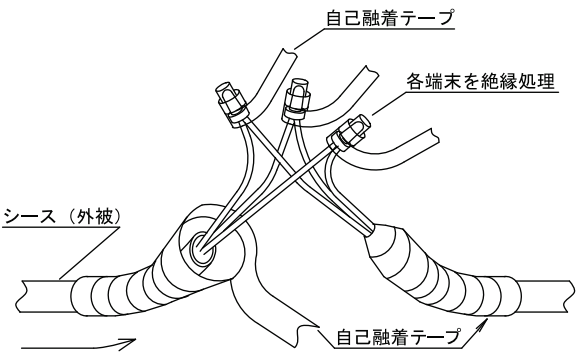
◆結線方法

⚠ 必ず電源を切ってから、作業を行ってください。感電の原因となります。

1、本器具の口出し線（3芯キャプタイヤケーブル）に接続する配線は、600Vビニル絶縁ビニルキャプタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用し、器具からの口出線の黒、白線に電源結線してください。

その際、結線には確実に絶縁処理を施してください。

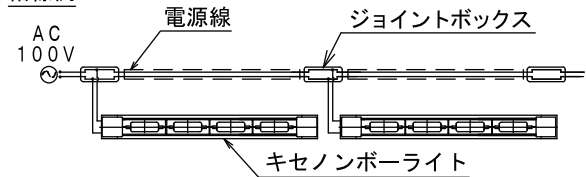
絶縁処理は導体部分のみではなくシース（外被）部分も含めて行ってください。不十分な場合、電線からの浸水による絶縁不良や、ランプ不点の原因になることがあります。



自己融着テープ等により各端末を絶縁処理した後にシース（外被）部から絶縁処理を行ってください。

- * 口出し線と電源線を確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- * 電源線、口出し線がランプに触れないようにしてください。火災の原因になります。
- * 電源線接続の際、口出部に張力がかからないようにしてください。

結線例



⚠ 電源線がランプに触れないようにしてください。火災の原因になります。

◆ランプ交換方法

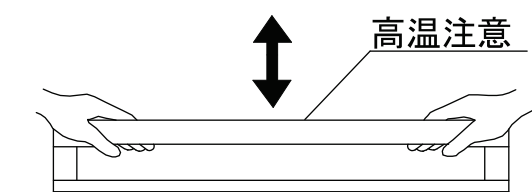
⚠ 必ず電源を切ってから、作業を行ってください。感電の原因となります。

⚠ 点灯中や消灯後（約20分まで）は、ランプが高温になっておりますので素手で触らないでください。やけどの原因になります。

⚠ ガラス部分を強くねじらないでください。ランプ破損の原因になります。

1. 落下防止クリップをランプ体より外す。（取付方法 1. 参照）
2. ランプ体をトラフ体より外す。（取付方法 2. 参照）
3. 新しいランプ体を差し込む。（取付方法 4. 参照）
4. 落下防止クリップをはめ込む。（取付方法 5. 参照）

※取付け方法 1、2、4、5の手順で行って下さい。



◆適合ランプ（交換用）

※別売

器具型番	MC65001専用	MC65002専用	MC65003専用
ランプ型番	LD40W30B F	LD40W20B F	LD20W10B F
定格	100V40W	100V40W	100V20W
適合ランプ	25V 5W×8 P	25V 5W×8 P	25V 5W×4 P
全光束 (Lm)	320	320	160
定格寿命 (Hr)	20000	20000	20000
全長 (mm)	626	576	326

- ⚠ ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- ⚠ 適合ランプ以外のランプは、絶対に使用しないでください。火災、器具故障の原因となります。

ご使用前に、この説明書を必ずお読みの上正しくお使いください。

保管用

工事店・電器店様へのお願い

この取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

◆はじめに

この器具をご使用になる前に、必ず本説明書をよくお読みになり、安全上の注意事項を充分にご理解ください。

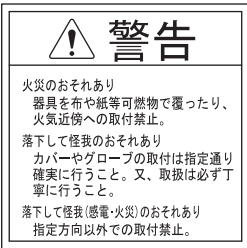
安全に関する事項は、本説明書の「安全上のご注意」または器具本体に貼付しているラベルの【警告】と【注意】のマークによって、特に注意を引くように表示しています。

【警告】誤って使用しますと、事故により使用者が重傷を負う危険があります。

【注意】誤って使用しますと、使用者が傷害を受けたり、物的損害の発生が想定されます。

【警告】【注意】マークの内容を厳守し安全・快適にご使用ください。

(例)



◆安全上のご注意

警告	警告
この器具は、一般通常環境（本説明書用語欄参照）の屋外防雨・防湿形天井直付壁面取付床直付兼用器具です。 下記の使用環境・条件では、使用しないでください。 落下・感電・火災の原因になります。 ●一般通常環境以外 ●水の溜まる所 ●業務用浴場 ●サウナ風呂 ●傾斜天井 使用環境に適合するか否かの判断が困難な場合は、お問合せください。 業務用浴場 サウナ風呂 は使用しない	木ネジによる器具取付けは下記のように行ってください。誤った施工をしますと、落下の原因になります。 ●取付部の強度が弱い場合には、補強材で補強してください。 ●取付部、補強材の材質は、杉、またはこれと同等以上の強度を有するものをご使用ください。 ●取付部、補強材へのネジ埋込み寸法は、20mm以上となるように取付けてください。 ●器具は補強材の板目、柾目面に取付けてください。 ●既に使用されたネジ穴の再利用は、しないでください。 器具の改造、部品の変更は行わないでください。落下・感電・火災等の原因になります。 濡れた手で器具を操作しないでください。感電・故障の原因になります。 カバー、グローブ、枠、飾り等の着脱は、器具本体表示または本説明書に従って確実に行ってください。落下の原因になります。 器具に他の荷重をかけないでください。落下・感電・損傷の原因になります。
交流電流をご使用下さい。また、電源周波数は器具銘板に従って正しく使用してください。感電・火災の原因になります。（インバータおよび白熱灯器具は50Hz・60Hz共用です。）	
電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている電圧±6%内でご使用下さい。ランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し感電・火災の原因になります。	
三相四線、単相三線式の配線下で使用する場合には、負荷のバランスをとり、ブレーカーは中性線が他相線路より後に遮断される仕様のものをご使用下さい。焼損の原因になります。	
電動機等を使用する電源回路には、器具を接続しないでください。高調波と過度の電圧変動により、焼損・不点の原因になります。	

警告	注意										
器具を布や紙等の可燃物で覆わないでください。また、燃えやすい物を近づけたり、異物を差込んだりしないでください。落下・感電・火災の原因になります。	器具、ランプの汚れは、乾いた布等で拭き取ってください。水洗いをしますと、感電・故障の原因になります。										
安全機構が付加されている場合は、必ず使用してください。落下・感電・火災の原因になります。	ランプ交換やお手入れの際は、電源を切ってください。感電の原因になります。										
煙・臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。感電・火災の原因になります。工事店、お買い上げの販売店、または当社もよりの支店にご相談ください。	器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりでなく、器具自体の寿命を短くします。										
注意	清掃										
ビニールクロス等耐熱温度が90℃以下の内装材を使用した場合には取付けないでください。焦げや変色の原因になります。	<table><tr><th>清掃箇所</th><th>清掃方法</th></tr><tr><td>金属メッキ処理 金属塗装処理</td><td>傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。</td></tr><tr><td>アクリル プラスチック</td><td>30℃～40℃の中性洗剤を使用し、水洗いをしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。（但し、金属部は除く）</td></tr><tr><td>木・竹・藤 布・和紙</td><td>こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。</td></tr><tr><td>ガラス</td><td>中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用し、スポンジ等で水洗いの後、自然乾燥してください。消しグローブは素手で触ると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。</td></tr></table>	清掃箇所	清掃方法	金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。	アクリル プラスチック	30℃～40℃の中性洗剤を使用し、水洗いをしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。（但し、金属部は除く）	木・竹・藤 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。	ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用し、スポンジ等で水洗いの後、自然乾燥してください。消しグローブは素手で触ると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。
清掃箇所	清掃方法										
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。										
アクリル プラスチック	30℃～40℃の中性洗剤を使用し、水洗いをしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。（但し、金属部は除く）										
木・竹・藤 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。										
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用し、スポンジ等で水洗いの後、自然乾燥してください。消しグローブは素手で触ると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。										
電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。	※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。										
器具銘板と梱包ケース、および本説明書の品番が一致しているか確認してください。	保管の際は下記の要領で行ってください。 ●購入時と同じ状態で梱包してください。 ●梱包ケースは、ケース表示に従い、正しい方向で保管してください。 ●梱包ケースの上に物を置かないでください。 ●梱包ケースに局部的な外圧をかけないでください。 ●常温（20±15℃）、常湿（65±20％）の場所に保管してください。										
器具や部品の取扱いは丁寧に行ってください。落下・破損の原因になります。	使用済の照明器具は、所轄の地方自治体が定めた方法にもとづき、適正に処理してください。なお、廃棄の際にはケガをしないよう手袋等をご使用ください。										
ランプの取扱いは丁寧に行ってください。特に着脱の際は、ランプホルダーやランプ支持バネ等で強く引かないください。ランプの落下・破裂・破損の原因になります。	マックスレイ 株式会社										
ランプをソケットに装着する際は、器具本体表示または本説明書に従って確実に行ってください。焼損・不点の原因になります。	東京 03-3791-2711 大阪 06-6967-0123 名古屋 052-252-9556 福岡 092-431-7824										
器具本体表示または本説明書に従って、定期的に保守、点検を行ってください。また、3～5年に1回は有資格者に点検を依頼してください。不具合のまま使用しますと火災の原因になります。											
点灯中や消灯直後のランプや器具は高温になっていますので、手を触れないでください。火傷の原因になります。											
部品交換の際は、器具本体表示または本説明書に記載されたもの以外は、使用しないでください。落下・感電・火災の原因になります。											
黒化したり、チラツキがでたランプは、新しいものと交換してください。焼損の原因になります。											